

科目名	高齢者看護学演習			分野・必選 別・単位数	専門科目 (高齢者看護学)	選択必修	4単位
担当教員	◎教授 上野公子 講師 黒白恵子						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	高齢者看護領域で関心のあるテーマに沿って文献レビューを行い自己の研究課題の明確化・焦点化を図り、研究計画書作成を念頭に置き、データ収集方法やデータ分析方法についても考える。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己の関心領域に関連する先行研究や学際的文献をデータベースから検索できる。</li> <li>2. 検索した研究論文のクリティークができる。</li> <li>3. 自己の関心領域に関する文献レビューをまとめ、記述することができる。</li> <li>4. 文献検討をもとに研究課題を明確にし、研究目的、研究方法について検討できる。</li> </ol>						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【第1回】科目概説 本科目の日程と内容に関して説明できる。</p> <p>【第2回～第22回】 自己の関心領域を仮に設定し他者に研究動機について説明できる。 設定した関心領域を基に文献検索を行うことができる。 課題に関連する文献検討(クリティーク)を行うことができる。 課題に関する研究動向についてまとめ、説明することができる。</p> <p>【第23回～第27回】自己の課題の明確化 上記文献検討から自己の研究課題の可能性や研究手法を探り、説明することができる。</p> <p>【第28回～第30回】まとめ 焦点を絞った自己の課題に取り組むための具体的な研究手法について討議できる。</p>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	文献検索を行い、文献を精読して授業に臨むこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に60時間以上の予復習が必要。					
教科書	適宜紹介する。						
参考書	適宜紹介する。						
成績評価の方法および基準	資料作成30%、プレゼンテーション及びディスカッション40%、課題レポート30%で評価する。						
その他履修上の注意事項	担当教員と積極的にコンタクトをとること。 課題レポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						